

今年もお世話になりました。ありがとうございました！



今年もお客様の皆様には本当にお世話になり、ありがとうございました。ご縁があり、当社を信用して下さり大切なマイホームをお任せ頂けて本当に心より感謝致します。ささやかでしたが今年もブラックサンタに変身させて頂き、小さなお子様がいらっしゃるお客様のお宅にプレゼントを持って訪問させて頂きました。不在のお宅もありましたのでお会い出来なくて残念でしたが、サプライズイベントと言う事で(笑)お子様の笑顔に私も毎回嬉しく思います。また来年も出没致しますのでよろしくお願い致します。今年も色々とありましたがこうしてお仕事をさせて頂けて、本当に心より感謝しています。加古川には住宅会社が本当にたくさんあります。そんな中から選んで頂ける事は奇跡に近い事であり、全てはご縁なんだと思います。そのご縁をこれからも大切に夢のマイホームをお任せ頂けたお客様とこれからも末永くお付き合いさせて頂ける事が、私の喜びであり幸せです。来年もまたBBQ大会や田舎の家でのBBQ&柿取りや栗拾いなどを計画して参りますので、皆様是非ご参加下さい！＼(o^)/家は建てて終わりではありません、そこから私は本当の信頼関係だと思っています。何か問題がありましたら、私がすぐに駆けつけますので、何なりとお申し付け下さい。気が付いたら御用聞き白矢に電話して下さいね！(笑)本当に皆様にはお世話になり心より感謝致します。来年も皆様にとって健康で幸せな素晴らしい年になります事を心よりお祈り致します。良いお年をお迎え下さい、そして来年もよろしくお願い致します。どうか風邪などひかれずお体ご自愛下さいませ。



絆
願 日本復興
白矢公一

SK加古川通信

第83号
平成25年12月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

御用聞きのひとりごと・・・今年一年を振り返って・・・

今年も良いお客様と出逢い、お仕事にも恵まれ、本当にありがたかったです。当社で家を建てさせて頂いたり、リフォームをお任せ頂けるお客様は、本当に良い方ばかりで本当に心より感謝しています。また、私達が活動させて頂いている事にも関心を抱いて頂き、ご協力して下さいるお客様もいらっしやって、本当に有難く、心より感謝致します。今年にはNPO法人アジア子供輝基金の設立と言う事もあり、カンボジアの支援活動には3回、本社の大西会長と共に訪問させて頂きました。4月には産婦人科建設予定地への視察やSKO孤児院の子供達を連れてのバス旅行などをさせて頂きました。そして今までとは違った体制へと変換して行く為に色々行動に移しています。以前に所属していた団体はカンボジアの支援を打ち切りました。理由は「SKOに関しては、自分達が始めた事では無いから」と言う事と他の支援に関しては、もう充分だろうと言う事でしたが、実際問題、「見ても来ても無い人間」の一部の心の無い団体幹部が決定した事でした。その人間は親のスネをかじって生活をしている人と、牧師をしている人で普段から人のお金、お布施で飯を喰っている人です。本心は利害関係を最優先した結果だと私は思っています。ので大西会長と私は本性見たり、と言う事でその団体を抜け、新しくNPOを立ち上げる決意をしたのです。私達はカンボジア支援の実行部隊として今まで「自分の目」で見えて、感じて、何が必要で何が正しいのかを判断してきました。当然の結果と言えばそれまでですが、何の罪もない子供達を放っておく訳には行きません。かと言って私達にも普通の生活と言うものがあり、お仕事をさせて頂けなければ自分自身も生活出来なくなる訳で・・・そこで最終目標はSKO孤児院で育てて自立した子供達が「自分達の手でこの施設を運営して行けるようにすること」と設定してその目標に向かってプロジェクトを進めて行く事になりました。私達もいつまでも生きてはいません・・・

8月には再度カンボジアに大西会長と共にカンボジアを訪れ、リサイクルショップの運営と養豚をする為の話が進み実行の方向で進んでいます。またSKOの子供達の進路に対する個人面談や話し合いもしました。年頃の男の子や女の子もいます。集団生活を送っていると様々な問題も起こります。普段関われないからと言って甘やかしてばかりではいけませんので、言いにくい事も言います。時には怒りもします。間違っただ道に進ませないように話し合いもします。本当は愛情一杯に抱きしめてあげればいいのですが、それだけでは済まない現状もあります。色々考えさせられます。そんな中、私もお仕事なくしては、活動も出来ませんのでご依頼頂いたお客様には本当に心より感謝しております。こうして活動出来るのも、全てはお客様のお蔭、ご理解・ご支援・ご協力して下さいる皆様のお蔭です。本当にありがとうございます。信用して頂いた以上は誠心誠意お客様の信用に答えるべく精進させて頂きます。そしてご依頼頂いたお客様は間接的ではあるかも知れませんが、カンボジア支援をされているのと一緒です。本当に心より感謝致します。

また11月には第1回アジア子供輝基金のスタディーツアーが開催され私達も含め、14名が参加されました。予算はお一人様20万円が当然自腹です。他の団体のように活動費や給料が募金から出るような事はありません。なので最近はボランティアと言う言葉は使わないようにしています。同じように見られたくはありませんので・・・

今年は大西会長が全額負担をしてバタンバン州に産婦人科を建設寄付されました。会社のお金ではありません。個人のお金で寄付されたのです。なかなか出来る事ではありません。本当に心より尊敬しています。今、カンボジアのバタンバンでは小学校や中学校よりも、産婦人科が求められています。人口増加に伴い需要度が高く、そして安全に子供を産めるようにと言う事です。カンボジアもいつまでも諸外国に頼ってはいけな事ですが、無ければそのままなんです・・・

いつまで経っても産婦人科は建たない、産婆さんが来て自宅で産むような状態なんです。未だに産まれた子供の内12人に1人が5歳までに病气などで死んでしまうような国です。人口は内戦後に増えたと言っても1400万人程度です。まだまだ人口が少ない国ではありますが、これからの将来を担う子供達がこれからも増え続ける事でその中からカンボジアの国の救世主となるような子供が育つかも知れませんが、私達はそんな想いも持ちながら支援活動をしています。これからの教育も本当に大切な事です。日本の国では嫌々ながら勉強している子供がたくさんいますが、それは恵まれている証拠なんだと思います。私もそうでした。カンボジアでは本当に生きて行くには何が必要か？明日のご飯を食べて行くには？将来裕福ではなくても普通に暮らして行くには？と考えた時の気持ちの入れようが違うと感じます。貧しさゆえにハングリー精神が全く違い、勉強出来る環境にある事にすごく感謝しています。10年後、20年後が私にとっては凄く楽しい事なんです。人生は何の為にあるのか・・・私自身は、次世代に繋ぐ為にあるのだと思っています。私達の親やご先祖様や先人が日本の国を豊かな国にしてくれたように、それを次世代に繋いで行くのが私達の役目なんではないかと思っています。私の出来る事なんて、たかがしれてますが、それでもやらないよりやったほうが良いと思っています。仕事は出来て当たり前です。無ければ出来ませんが(笑)それプラス少しでも自分を必要として頂ける方々の為にお役に立つ事の出来る人生でありたいと思います。今年一年、本当にありがとうございました。皆様、良いお年をお迎え下さい。

